

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%					○
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%				○	
我が国の言語文化に関する事項	81.2%		○			
話すこと・聞くこと	66.3%				○	
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 「書くこと」の領域では、目的や意図に応じて自分が伝えたいことを分かりやすく書くことができました。授業の中で、書く活動を多く取り入れたり、週末の作文の課題に取り組ませたりした成果です。
- 「読むこと」の領域では、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題が見られました。文章の叙述から事実と感想、意見などの関係を捉える力を伸ばしていきます。また、教科書以外の文章を読む機会を増やし、日常的に読解力の育成を図っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%					○
図 形	56.2%					○
測 定	54.8%					○
変化と関係	57.5%			○		
データの活用	62.6%					○

【考 察】

- 「数と計算」の領域では、全国平均を上回りました。中でも、数直線上に示された数を分数で表す問題が全国の平均正答率を大きく上回りました。日頃の授業において問題から数量関係を正しく捉えたり、話し合う活動を取り入れたりして理解を深めてきた成果です。
- 「変化と関係」の領域では、問題文の「何倍」「10%増量」の意味を正しく解釈することができず、数量関係を正しく捉えるところに課題が見られました。日常生活との関連の中から問題を見つけ解決する活動を取り入れることで、数量関係を正しく捉えられるよう授業改善を図っていきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- どの領域についても、平均正答率を上回りました。特に、「生命」の領域では、植物の観察や実験の問題について理解することができていました。日々の授業において疑問・予想・実験・考察という学習の流れを大切にしながら授業を進めてきた成果でありますので、今後も継続して指導していきます。
- 水の蒸発をテーマに実験結果を基にした問題では、科学的用語の正しい理解に課題が見られました。日々の授業において新しく学んだ科学的な用語を積極的に使って考えをまとめるなど、授業改善を図っていきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第三小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
	白三小	43.1	40.3	16.7	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 自分で学び方を考え、工夫できていると回答している児童が多いです。授業の中で、自分の考えを説明したり、友達の考えを聞いたりすることで、さらに自分の考えを深められるよう児童が主体的に学習に取り組めるように指導していきます。
- 児童が、自分でテーマを見つけながら探究活動に取り組み、自分なりの方法で調べたり、まとめたりする活動を大切にすることで、より自分から学び方を考えられるようにしていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
	白三小	11.1	15.3	40.3	23.6	4.2	5.6

(単位 %)

【考 察】

- 約66%の児童が、学年の目標である「学年×10～15分」（6年生は60分～90分）の学習に取り組んでいます。一方で、学年の目標時間に達していない児童もいることから、個別に課題を選択できるようにしたり、自主学習のよい取り組み例を紹介したりして、家庭学習の方法を広く共有することで、児童が主体的に学習に取り組めるよう指導していきます。
- 今後も、本校の「家庭学習の手引き」を基に、「目をかけて」「声をかけて」「心をかけて」を合い言葉に、保護者の皆様と共に児童を育てていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
	白三小	41.7	47.2	9.7	1.4

(単位 %)

【考 察】

- 約90%の児童が、既習した学習を次の学習につなげることができていると感じています。今後もより充実した学習ができるような働きかけを教師側で行い、学力向上につなげていきます。
- 家庭学習では自己マネジメント力の向上を図り、自分で考え、計画し、実践していくことができるように、継続して指導していきます。

4 学校に行くのは楽しいと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	49.9	36.6	9.1	4.3
	白三小	58.3	34.7	5.6	1.4

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「Q-Uテスト」を活用したよりよい学級づくりや、「ハッピータイム」での児童のよりよい人間関係づくりに取り組んでいます。また、互いの考えを聴き合うことを大切に授業に取り組んでいます。このような活動を通して、児童は人間関係を構築し、よりよい学校生活を送ることができていると考えます。今後も子どものよさを認め、さらに伸ばしていく指導や支援を継続し、様々な学習活動への意欲につなげていきます。
- 「Q-Uテスト」「困り事アンケート」「あのね作文」を計画的に位置づけ、児童の困り感に寄り添い、早期対応できるような体制を整えています。今後も学級の状況や子どもとの関わり方について研修を深めると共に、児童一人一人を大切にし、児童の考えを見取ったり、状況に応じて関わったりする教師の指導力向上に努めていきます。